

令和3年 第5回

戸田市教育委員会定例会

令和3年5月20日（木）午前9時30分

戸田市役所3階教育委員室

戸田市教育委員会

第5回教育委員会（定例会）次第

1 開会

2 前回の会議録の承認

3 教育委員提案 別添 資料No.1のとおり

4 報告事項 別添 資料No.2のとおり

5 議事

ページ

(1) 専決処理事項の報告

報告第 7号 生涯学習課所管施設の開館時間変更について…………… 1

報告第 8号 戸田市海外留学奨学資金等受給者選考委員会委員の委嘱について…………… 4

報告第 9号 戸田市社会教育委員の委嘱について…………… 5

報告第10号 戸田市公民館運営審議会委員の委嘱について…………… 7

報告第11号 戸田市立図書館運営協議会委員の委嘱について…………… 9

報告第12号 戸田市文化財保護審議会委員の委嘱について…………… 11

(2) 議案

議案第21号 令和3年度一般会計（教育委員会関係）6月補正予算（案）について

…………… 13

6 その他

(1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和3年6月18日（金）午前9時30分～

(2) その他

7 閉 会

生涯学習課所管施設の開館時間変更について

戸田市立芦原小学校生涯学習施設の開館時間変更について

1 開館時間

【変更前】午前9時から午後9時30分まで

【変更後】午前9時から午後8時まで

(ただし、貸室の利用時間は午後7時30分まで)

2 期 間

令和3年4月28日(水)から令和3年5月31日(月)まで

3 理 由 等

戸田市新型コロナウイルス対策本部会議において、市内公共施設等の開館時間について、5月31日(月)までは午後8時までとすることが決定されたため。

4 参 考

戸田市立芦原小学校生涯学習施設運営要綱 ～抜粋～

(利用時間)

第3条 施設の利用時間は、午前9時から午後9時30分までとする。

(休館日)

第4条 施設の休館日は、次のとおりとする。

(1) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

(2) その他教育委員会が必要と認めた日

戸田市立図書館上戸田分館の開館時間変更について

1 開館時間

変更前 午前9時から 午後9時30分まで

変更後 午前9時から 午後8時まで

2 期 間 令和3年4月28日（水）から令和3年5月30日（日）まで

※5月31日（月）は、休館日（月末整理日）

3 理 由 等

戸田市新型コロナウイルス対策本部会議において、市内公共施設等の開館時間について、5月31日（月）までは午後8時までとすることが決定されたため。

4 参 考

戸田市立図書館条例施行規則 ～抜粋～

（利用時間）

第4条 図書館の利用時間は、次のとおりとする。ただし、戸田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは、これを臨時に変更することができる。

| 名称 | 利用時間 |
|---------------------------------|--|
| 戸田市立中央図書館 | 月曜日から金曜日まで（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第3条に規定する休日（以下「休日」という。）である場合を除く。）は午前9時から午後8時までとし、日曜日、土曜日及び休日は午前9時から午後6時まで |
| 戸田市立図書館上戸田分館 | <u>午前9時から午後9時30分まで</u> |
| 戸田市立図書館下戸田分室、戸田市立図書館美笹分室及び戸田市立図 | 午前9時から午後6時まで |

| | |
|------------------|---|
| 書館下戸田南分室 | |
| 戸田市立図書館戸田公園駅前配本所 | 月曜日から金曜日まで（その日が休日である場合を除く。）は午前8時30分から午後8時までとし、日曜日、土曜日及び休日は午前9時から午後5時30分まで |

第9章 雑則

第34条 第4条から第10条の2まで、第12条から第18条まで及び第20条から第23条までの規定は、第31条の規定により図書館の管理に関する業務を行う指定管理者について準用する。この場合において、第4条中「戸田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは」とあるのは「指定管理者は、教育委員会の承認を得て」と、第8条中「館長が」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得て」と、第9条第1項、第4項及び第8項中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第10条及び第10条の2中「館長が」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得て」と、第12条、第13条、第16条から第18条まで並びに第22条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとし、第1号様式から第8号様式までに替わるものを指定管理者が別に定めるものとする。

令和3年度一般会計（教育委員会関係）6月補正予算（案）

（歳入）

（単位：千円）

| 款・項・目・節 | 補正前の額 (節) | 補正額 (節) | 計 (節) | 説 明 | 細 節 細 節 |
|---|--------------|------------|----------|---|------------|
| 15 県支出金 02 国庫補助金 06 教育費国庫補助金教育費委託金 01 教育総務費補助金 (学務課) | 3,669 | △ 3,669 | 0 | ○04 スクール・サポート・スタッフ配置事業 【補正理由】 補助金交付が行われないことにより 事業が実施されないことの補正 | △ 3,669 |
| 16 県支出金 02 県補助金 06 教育費県補助金 01 教育総務費委託金 (学務課) | 7,338 | △ 7,338 | 0 | ○04 スクール・サポート・スタッフ配置事業 【補正理由】 補助金交付が行われないことにより 事業が実施されないことの補正 | △ 7,338 |
| 15 国庫支出金 02 国庫補助金 06 教育費国庫補助金 01 教育総務費補助金 (教育政策室) | 0 | 821 | 821 | ○05 教育支援体制整備事業 【補正理由】 補助金決定通知を受けての補正 | 821 |
| 15 国庫支出金 02 国庫補助金 06 教育費国庫補助金 02 小学校費補助金 (教育政策室) | 1,282 | 716 | 1,998 | ○03 学校・家庭・地域連携教育費国庫補助金 【補正理由】 補助金決定通知を受けての補正 | 716 |
| 15 国庫支出金 02 国庫補助金 06 教育費国庫補助金 03 中学校費補助金 (教育政策室) | 0 | 9,815 | 9,815 | ○03 学校・家庭・地域連携教育費国庫補助金 【補正理由】 補助金決定通知を受けての補正 | 9,815 |

(歳出)

(単位：千円)

| 款・項・目・大事業・中事業 | 補正前の額 (中事業) | 補正額 (中事業) | 計 (中事業) | 説 明 | 節 細節 細々節 |
|--|----------------|--------------|------------|---|------------------|
| 10教育費 01教育総務費 02事務局費 05就学援助事業 05就学援助事業 (学務課) | 140,961 | 11,403 | 152,364 | 節19扶助費 ・01就学援助費 【補正理由】就学援助費支給対象者に、新たにオンライン通信費を支給するための補正(小学3年生～中学3年生が対象) | 11,403 |
| 10教育費 02小学校費 01学校管理費 01小学校管理運営費 01小学校管理運営費 (学務課) | 115,557 | △ 7,696 | 107,861 | 節01報酬 ○01会計年度任用職員報酬 ・01パートタイム会計年度任用職員61人 ○08旅費 ・01費用弁償 【補正理由】スクール・サポート・スタッフに係る補助金交付が行われないことにより配置を行われなくなったための補正 | △ 7,338 △ 358 |
| 10教育費 03中学校費 01学校管理費 01中学校管理運営費 01中学校管理運営費 (学務課) | 21,477 | △ 3,848 | 17,629 | 節01報酬 ○01会計年度任用職員報酬 ・01パートタイム会計年度任用職員31人 ○08旅費 ・01費用弁償 【補正理由】スクール・サポート・スタッフに係る補助金交付が行われないことにより配置を行われなくなったための補正 | △ 3,669 △ 179 |
| 10教育費 01教育総務費 05教育センター費 02就学・教育相談事業 03小学校自己肯定感育成事業 (教育政策室) | 9,601 | 0 | 9,601 | ※特定財源充当額の減額(教育支援体制整備事業) | |

(歳出)

(単位：千円)

| 款・項・目・大 事業・中 事業 | 補正前の額 (中事業) | 補正額 (中事業) | 計 (中事業) | 説 明 | 節 ： 節 細節 ： ○ 細々節 ： ・ |
|--|----------------|--------------|------------|---|-------------------------------------|
| 10教育費 02小学校費 01学校管理費 04小学校教育振興費 01小学校教育振興費 (教育政策室) | 23,748 | 0 | 23,748 | ※特定財源充当額の減額(学校・家庭・地域連携教育費国庫補助金) | |
| 10教育費 03中学校費 01学校管理費 04中学校教育振興費 01中学校教育振興費 (教育政策室) | 83,439 | 1,024 | 84,463 | ※特定財源充当額の減額(学校・家庭・地域連携教育費国庫補助金) 節18負担金、補助及び交付金 ○02補助金 ・06英語検定受験費用助成事業 【補正理由】英語検定受験料値上げに伴う補正 | 1,024 |

資料 NO. 1

教育委員提案

令和3年第5回教育委員会(定例会)

令和3年5月20日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

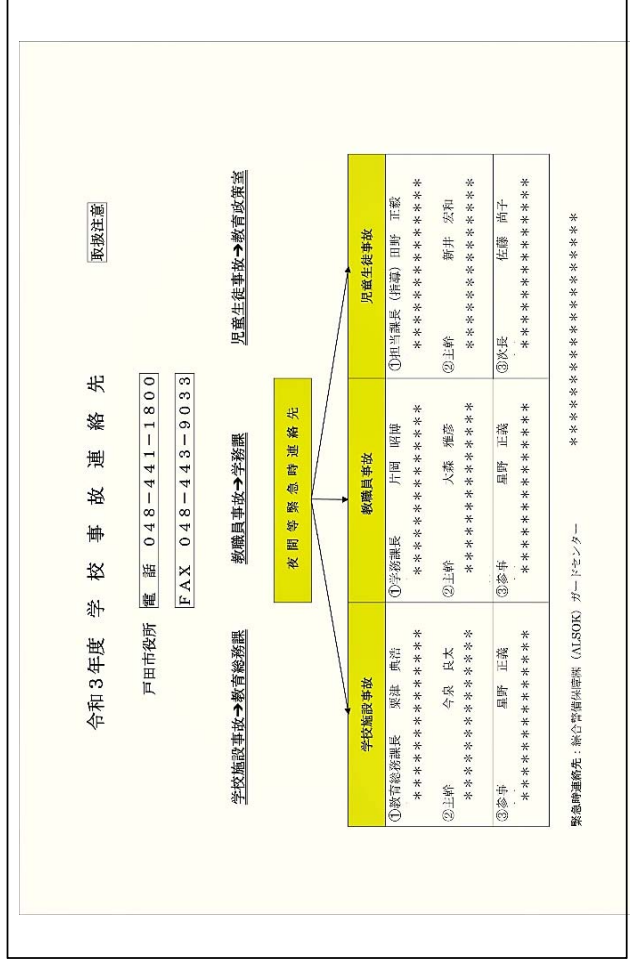
1 教育委員提案

ページ

- ① 学校・市教委間の緊急連絡体制及びオンライン会議のあり方について（鈴木委員）…………… 1
（教育総務課）
- ② 特色のある学校づくりについて（木村委員）…………… 2
（教育政策室）

学校・市教委間の緊急連絡体制及びオンライン会議のあり方について

①学校・市教委間の緊急連絡体制について



②オンライン会議のあり方について

- ◎法令に定めのある会議について
- ・定例教育委員会
オンライン会議について、規則に規定した
会議の実施方法 → 教育長が決定
- ◎任意の会議について
- ・校長会議(状況によりオンライン会議を実施)
 - ・教頭会議(状況によりオンライン会議を実施)
 - ・建替え準備委員会等(書面による同意)
会議の実施方法→所管課の起案により随時決定

特色ある学校づくりについて

戸田市教育委員会
教育政策室

学校研究主題等からみる 特色ある学校づくり

市が推奨する研究領域について

研究委嘱校の募集について

研究領域 要項3条「研究領域及び研究主題」に基づき、次の(1)、(2)に係ること

(1) 各教科等及び教育課程全般に関わること

(2) 市教育委員会が委嘱希望を求める研究領域

① PEERカリキュラム、セサミストリートカリキュラムに関すること

② PBL、教科等横断的な学びに関すること

③ 特別支援教育に関すること

(ユニバーサルデザイン、ペアトレ、ビジョントレーニング)

※(2)については、(1)と併せて研究することも可能。なお、②については、SEEPプロジェクト(Subject-EdTech-EBPM-PBL)として研究。

今年度の研究委嘱発表校について

| 学校名 | 研究教科等 | 研究の柱 | 産官学の連携 |
|------|---------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 笹目小 | 全教科等 | R S Tの視点からの授業改善 | 国立情報学研究所 教育のための科学研究所 |
| 戸田東小 | 生活・総合的な学習の時間 | 産官学との連携を活かしたP B Lの創造 | 株式会社 キャリアリンク |
| 喜沢小 | 全教科 | PBSを取り入れたPBLについて | 株式会社COLEYO |
| 笹目東小 | 国語・生活科 総合的な学習の時間 | 実社会で生きて働く力 (コンピテンシー)の育成 | 上智大学総合人間科学部 (教授 奈須 正裕 氏) |
| 戸田中 | 全教科等 | 各教科等における特別支援教育の在り方 | LITALICO |
| 戸田東中 | 全教科等 | 産官学との連携を活かしたP B Lの創造 | 株式会社 キャリアリンク |
| 新曽中 | 総合的な学習の時間 | P B Lをとおした新しい学びの創造 | 株式会社 Prima Pinguino |
| 笹目中 | 全教科等 | 学習過程の質的改善 | 聖心女子大学 (教授 益川 弘如氏) |

現在継続中の研究委嘱について

| 学校名 | 研究教科等 | 研究の柱 | 産官学の連携 |
|------|------------------------|-----------------------------|--|
| 戸一小 | 生活科・総合的な学習の時間 【PBL】 | P B Lをととした新しい学びの創造 | インテル株式会社 |
| 戸二小 | 生活科・総合的な学習の時間 | 産官学との連携を活かしたP B Lの創造 | インテル株式会社 |
| 新曽小 | 全教科等 | 生活・総合を核とした カリキュラム・マネジメント | フューチャーインスティテュート IG S株式会社 |
| 美谷本小 | 生活・総合的な学習の時間 【PBL】 | 産官学との連携を活かしたP B Lの創造 | インテル株式会社 (MasterTeacher 朝倉氏) |
| 戸田南小 | 全教科等 | 通常学級における、インクルーシブ教育 | LITALICO |
| 新曽北小 | 全教科 | 自分ゴト化し、挑戦する児童の育成 | 日立イノベーター |
| 美女木小 | 全教科 | 正確に理解し、適切に表現できる資質・能力 の育成 | 香港日本人学校 |
| 芦原小 | 生活科、総合的な学習の時間 | 家庭と地域と創る探究的な学習 | ・フューチャーインスティテュート ・あしはらっ子「やってみよう」 探究ルーム |
| 美笹中 | 全教科等 | N I Eを軸としたカリキュラム・マネジメント | (一社) 日本新聞協会 |
| 喜沢中 | 全教科等 | 主体的・対話的で深い学びの追究 | 聖ドミニコ学園 2 1世紀型教育機構 |



カリキュラム・マネジメントの 視点からみる特色ある学校づくり

『授業力』向上プランー目指す子供像ー

『授業力』向上プラン

- ・平成30年度より（A4 1枚厳守）
- ・自校の子供たちに育みたい資質・能力を記載
- ・資質・能力を育むための方策も併せて記載



各学校で子供の実態、地域の願い等を鑑み、決定している

例：R02戸田東小学校
『授業力向上プラン』

令和2年度 戸田東小学校 授業力向上プラン

グローバル社会でたくましく生き抜き、活躍できる児童の育成

発見力・**思考力**・**行動力**

生きて働く知識・技能 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力 学びの人生や社会に生かす力とする学びに向かう力・人間性

教師力 働き合う組織 「50分チャレンジ授業」

学級経営力 居心地のよい学級づくり 「学級力向上プロジェクト」

教員ICTスキル ICTの効果的活用 「教員用メディアリテラシー」

PBL ハイブリッド型オンライン学習

LoiLo シンキングツール **Benesse** R-PDCA

L(ラーニング)モジュール **ぐんぐん広場**

学習者用デジタル教科書 **DQ** CITIZEN SHIP **AiGROW**

本質的な問い

授業力 児童一人一人を確実に伸ばす授業 「授業づくりのいろは」

振り返り ◆単元に注目した本単の振り返り ◆単元を貫通した振り返り ◆学びの振り返り

学習活動 ◆主体的・学び合いの場の設定 ◆授業形態や学習時間の確保 ◆各小集団での活動の役割と支援 (指導の個別化・学級の活性化)

準備 ◆授業目標の明確化 ◆教材研究 (各単元の明確化)



令和元・2年度 文部科学省委託事業
これからの時代に求められる資質・能力を育むための
カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究

戸田市が目指す「世界で活躍できる人間」像の共通理解

アクティブ・ラーニングの
視点による授業改善

PBL
(Project Based Learning)
の実践研究

産官学民との連携
人的・物的資源の活用

研究拠点校 (戸田第二小学校)

戸田市カリキュラム・マネジメント検討会議

有識者委員による本事業研究への
指導助言

<委員>

- ・学識経験者
- ・県教育委員会関係者
- ・市内小・中学校長
- ・市内研修推進教員

SSC
(Sesame Street Curriculum)
の実践研究

研究拠点校 (新曽小学校)

NIE
(Newspaper in Education)
の実践研究

研究拠点校 (美笹中学校)

戸田市版「カリキュラム・マネジメントの手引き」の作成
(身に付けさせたい資質・能力 × 教育課程の編成 × ICT機器のフル活用)

カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究

令和元・2年 文部科学省委託事業
これからの時代に求められる資質・能力
を育むためのカリキュラム・マネジメント
の在り方に関する調査研究

戸田市版 カリキュラム・ マネジメントの手引書

令和3年3月
戸田市教育委員会

『戸田市版 カリキュラム・マネジメントの手引書』の手引き

教科等横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントの推進にあたって、以下のQ&A、参照ページの実践等を参考に『カリキュラム・マネジメントの手引書』を活用ください。

『戸田市版 カリキュラム・マネジメントの手引書』の活用について

Q1 子供たちにどのような「資質・能力」を育めばよいのでしょうか。

【A1】全ての教科等の目標は『知識及び技能』『思考力、判断力、表現力等』『学びに向かう力、人間性』の3つの資質・能力で整理されました。各学校で目指す子供像もこれらとの関連性を意識し、各校の児童生徒の実態を踏まえて設定していきます。取り組みやすいため、3つ程度に絞ったり、全教職員で議論したりする工夫も見られました。

手引書Check

- I カリキュラムマネジメントの進め方（理論編）より
 - 2 子供たちに育むべき資質・能力【p.6～8】、資質能力ルーブリック【p.10,11】参照
- II 実践校による取組（実践編）より
 - 戸二小【p.30,31,41～43】、美管中【p.54,55】、新館小【p.78】参照

Q2 単元配列表とは何ですか。

【A2】各教科等の年間指導計画を細かくまとめた（一枚の）表です。各教科等のつながりを意識して、単元配列し直すことが重要です。

手引書Check

- I カリキュラムマネジメントの進め方（理論編）より
 - 3 単元配列表の作成について【p.9～12】参照
- II 実践校による取組（実践編）より
 - 戸二小【p.49,50】、新館小【p.79】参照

Q3 なぜ、カリキュラム・マネジメントにPDCAサイクルの確立が大切なのか。

【A3】教科書等を基にした指導計画に基づき、指導を進めていく意識が強かったこれまでに対し、「カリキュラムをデザインする」ためには、その意識が特に重要となるからです。ルーブリック、各種調査の結果等から、A1のような児童生徒の実態がどのように変化したかを次の取組に繋げます。

手引書Check

- I カリキュラムマネジメントの進め方（理論編）より
 - 4 「PDCAサイクルの確立」について【p.13～15】参照
- II 実践校による取組（実践編）より
 - 戸二小【p.40～45】、美管中【p.59～61、75,76】、新館小【p.99,100】参照

Q4 カリキュラム・マネジメントの3つの側面の一つとして「必要な人的・物的資源」の活用が挙げられています。どのようなことですか。

【A4】地域の人材の活用に加え、産官学との連携も命られます。また、新聞の活用という工夫も見られました。

手引書Check

- I カリキュラムマネジメントの進め方（理論編）より
 - 5 「人的・物的リソースの活用」について【p.15～17】参照
- II 実践校による取組（実践編）より
 - 戸二小【p.32～35】（PBLについて）、美管中【p.62,63】（NIEについて）、新館小【p.83、93～98】（セザミストリートカリキュラムについて）参照

その他 特色ある実践校の取組について

- ◆コロナ禍におけるオンライン学習等の実践
 - 【戸二小】
 - ・戸田型ハイブリット授業
 - ・ペア・グループ学習におけるガイドライン【p.35～39】参照
 - ◆各教科等での実践例【新館小】【p.84～92】参照
- ◆研究推進委員会の効果的な取組例
 - 【美管中学校】
 - ・時間割に委員会を組み込んでいく等【p.55】参照

カリキュラム・マネジメントによる特色ある学校づくり

戸田第二小学校 <PBL>

『心豊かに21世紀を たくましく 生き抜く子』の育成

産官学と連携したPBLの実現

【指導者（産官学との連携）】

インテル株式会社
札幌市立発寒南小学校

竹元 賢治 様
朝倉 一民 様

プログラミング
×
図画工作科
STEAM教育



戸田市内の動画制作会社と
Zoomでつながった
ポスターづくり

ロイロノートを使った
課題解決



カリキュラム・マネジメントによる特色ある学校づくり

美笹中学校 <NIE>

『社会で活躍できる力』を育む授業の創造～NIEをととして～

各教科等の連携によるNIEの推進

【指導者（産官学との連携）】 日本新聞協会NIEコーディネーター
関口 修司 様

研究推進委員会の運営
日課時間割に組み込む



日頃より新聞に慣れ親しむ
環境づくり

各教科等におけるNIE実践
【例：社会科】複数紙の読
み比べによる多面的・多角
的な見方・考え方の指導



カリキュラム・マネジメントによる特色ある学校づくり

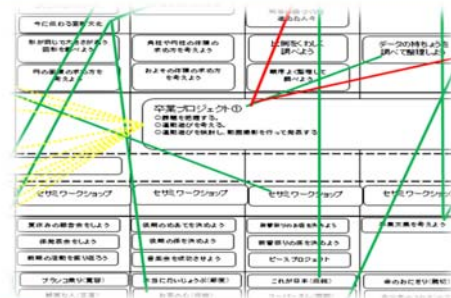
新曽小学校 <SSC>

『つなぐ』～カリキュラムを人を社会をつなぐ資質・能力ベースの学び～

総合的な学習の時間を中核とした資質・能力の育成

【指導者（産官学との連携）】 フューチャーインスティテュート株式会社
為田 裕行 様

各学年でのセサミスト
リートカリキュラムの
実践



つながりを意識した
単元配列表の作成

タブレットPCで異学年の
学びをつなげる
(3年 国語科)
「1年生に伝えよう」



市独自の取組等からみる 特色ある学校づくり

学校の特色ある取組 1 教科等横断的カリキュラム

学校等横断的カリキュラム



学校の特徴ある取組 2

個別最適な学びの実現

授業者用デジタル教科書を活用した授業実践



学校の特徴ある取組 3

個別最適な学びの実現

AI型ドリル



特色ある学校づくり補助金から1

笹目東小 **フルーツロード・水田づくり**



特色ある学校づくり補助金から2

戸田中 **ボート部**



報告事項

令和3年第5回教育委員会(定例会)

令和3年5月20日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 報告事項

ページ

- ① 令和3年度市研究指定等委嘱校 学校研究主題一覧について…………… 1
(教育政策室)
- ② 市内中学校の生徒指導案件について……………資料なし
(教育政策室)
- ③ その他

報告事項①

令和3年度 市研究指定等委嘱校 学校研究主題一覧（小学校）

R03.4.26現在

※太字は発表予定校
※網かけは新規委嘱校

| No | 学校名 | 研究教科等 | 研究主題 | 研究委嘱機関 | 委嘱期間 | 発表予定年度 | | |
|----|-------------|--------------------|--|----------|------------|---------------|----|----|
| | | | | | | R3発表予定日 | R4 | R5 |
| 1 | 戸田市立戸田第一小学校 | 生活科・総合的な学習の時間【PBL】 | PBLで開く新しい学びの創造 | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 2 | 戸田市立戸田第二小学校 | 生活科・総合的な学習の時間 | つむぐ ～主体的に学び続け、他者と協働し、新たな価値を生み出すことがで きる児童の育成～ | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 3 | 戸田市立新曽小学校 | 全教科等 | つなぐ ～カリキュラムを、人を、社会をつなぐ、資質・能力ベースの学び～ | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 4 | 戸田市立美谷本小学校 | 生活・総合的な学習の時間【PBL】 | 心豊かに学び合い、未来を拓く児童の育成 | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 5 | 戸田市立笹目小学校 | 全教科等 | 自ら学びに向かう児童の育成 ～リーダーディングスキル向上を目指した指導法の工夫・改善～ | 戸田市教育委員会 | H30・R1・2・3 | 12/8 | — | — |
| 6 | 戸田市立戸田東小学校 | 生活・総合的な学習の時間 | グローバル社会でたくましく生き抜き、活躍できる児童生徒の育成 ～課題発見・解決能力と論理的思考を育成するPBLの推進～ | 戸田市教育委員会 | R1・2・3 | 11/10 | — | — |
| 7 | 戸田市立戸田南小学校 | 全教科等 | 通常学級における、インクルーシブ教育のあり方 ～安全・安心の学級経営を通して～ | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 8 | 戸田市立喜沢小学校 | 全教科 | 児童と共に創る未来の学校 ～PBL×PBS～ | 戸田市教育委員会 | R1・2・3 | 1/28 | — | — |
| 9 | 戸田市立笹目東小学校 | 国語・生活科、総合的な学習の時間 | 実社会で生きて働く力（コンピテンシー）の育成 ～インプットからアウトプットへ～ | 戸田市教育委員会 | R3 | 1/27 オンライン | — | — |
| 10 | 戸田市立新曽北小学校 | 全教科 | 自分ゴト化し、挑戦する児童の育成 | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 11 | 戸田市立美女木小学校 | 全教科 | 互いに学び合い、思いや考えを伝えられる子の育成 ～正確に理解し、適切に表現できる資質・能力を育む授業を通して～ | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — |
| 12 | 戸田市立芦原小学校 | 生活科、総合的な学習の時間 | 学ぶ情熱にあふれ よりよい未来を拓く児童の育成 ～仲間と 家庭と 地域と創る探究的な学習～ | 戸田市教育委員会 | R3・4・5 | — | — | ○ |
| | | | | | 発表校数 | 4 | 7 | 1 |

令和3年度 市研究指定等委嘱校 学校研究主題一覧（中学校）

※網かけは新規委嘱校

| No | 学校名 | 研究教科等 | 研究主題 | 研究委嘱機関 | 委嘱期間 | R3発表予定日 | 発表予定年度 | | |
|----|------------|-----------|--|----------|------------|-----------|--------|----|---|
| | | | | | | | R4 | R5 | |
| 1 | 戸田市立戸田中学校 | 全教科等 | 気づき・考え・深める 特別支援教育 ～特別支援教育を科学する～ | 戸田市教育委員会 | H30・R1・2・3 | 12/13 | — | — | |
| 2 | 戸田市立戸田東中学校 | 全教科等 | グローバル社会でたくましく生き抜き、活躍できる児童生徒の育成～課題発見・解決能力と論理的思考を育成するPBLの推進～ | 戸田市教育委員会 | R1・2・3 | 11/10 | — | — | |
| 3 | 戸田市立美笹中学校 | 全教科等 | 社会で活躍できる人材の育成～NIEを軸としたカリキュラム・マネジメント～ | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — | |
| 4 | 戸田市立喜沢中学校 | 全教科等 | 疑・思・創～社会の一員として未来を生きていくために～ | 戸田市教育委員会 | R2・3・4 | なし | ○ | — | |
| 5 | 戸田市立新管中学校 | 総合的な学習の時間 | 自ら課題を見つけ、考察する生徒の育成～PBLを取り入れた実践を通して～ | 戸田市教育委員会 | R1・2・3 | 1/17オンライン | — | — | |
| 6 | 戸田市立笹目中学校 | 全教科等 | 主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～学習過程の質的改善～ | 戸田市教育委員会 | H30・R1・2・3 | 1/18 | — | — | |
| | | | | | | | 発表校数 | 4 | 2 |

2

その他に行われる研究一覧（令和3年度）

※網かけは新規委嘱校

| No | 学校名 | 研究教科等 | 研究主題 | 研究委嘱機関 | 委嘱期間 | R3発表予定日 | 発表予定年度 | |
|----|-----|-------|-------------------------------|-----------|------|---------|--------|----|
| | | | | | | | R4 | R5 |
| 1 | 戸二小 | 算数 | 実践研究協力校事業（E-Assessmentに関するもの） | 国立教育政策研究所 | R03 | — | — | — |
| 2 | 戸東小 | 音楽 | 実践研究協力校事業 | 国立教育政策研究所 | R03 | — | — | — |